## 個人山行 多紀アルプスで山を楽しみ尽くす

## 三嶽・小金ケ嶽 周遊

とき : 2020 年 12 月 29 日 (火曜日)

天候 : 晴れのち曇り

メンバー: 3名(男性:3名 女性:0名)

## く コースタイム >

9:25 三嶽登山口-10:5 口 - 10:25 大嶽寺跡-1 1:0 三嶽山頂 -11:40 大 タワ駐車場で昼食-12:5 出 発-13:0小金ケ嶽山頂-1 3:45 福泉寺跡-14:30 下山

## < 活動記録 >

年末の忙しい時期、突然の声掛けで集まったメンバー3名、多紀ア 鳥居堂跡-9:40 大峰山登山 ルプス周遊で年忘れ山行となった。出発直後の勾配30~50%の 急登を経て三嶽山頂に到着。途中、眼下に広がる雲海はまるで中央 アルプス早朝の景色を思い出された。その後勾配40%の急降坂を 下り大タワ駐車場に。手早く昼食を済ませ小金ケ嶽登山道に入る。 目の前に立ちはだかる岩峰群をクライミングのように攻め、ようや く山頂に。更に急こう配の下山道の後、谷筋に入り、沢下りのごと く高度を下げながら下山終了。途中三嶽を3周しているトレイルラ ンニングチームと3回のエールの交換、当意即妙な会話の連続、陽 だまりの尾根道歩きなど、新型コロナで活動が制限されてしまった この1年を振り返りながら、年末のあわただしさを忘れた山行とな った。



三嶽登山口



山の指導に従わなかったために焼け討 ちで廃墟化とのこと。歴史の勉強!



いきなり勾配 30%の急登が延々 と続く



大岳寺跡到着、室町時代、本山の大峰 急登中、稜線に突然現れた雲海に この人も様になっている。後ろ姿 魅了された



ようやく最初の分岐で尾根道に 合流



に哀愁を感じる珠玉の1枚!



三嶽山頂で記念撮影



ここでも遥かに広がる遠景と味 わい深い雲海が



陽だまりを感じながらのトレッ キング。唯一見つけた残雪



急降坂を一気に下る



大たわ駐車場に到着、 ここで昼食



小金ケ嶽に向けて出発



アスレチックの施設に見入る、とっ ても怖くて登れない



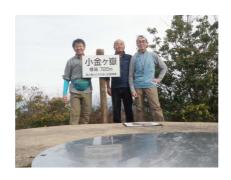
突然、猪出現!



小金ケ嶽の前にはだかる岩稜



鎖場でも基本に忠実に

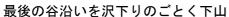


小金ケ嶽山頂



福泉寺跡、ここも焼き討ちにあっ て廃墟に



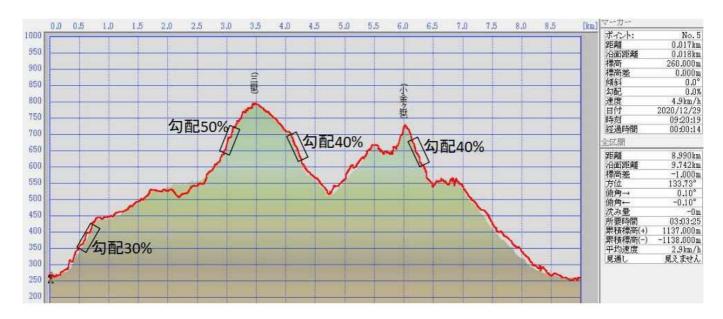




下山完了



番外編、帰路途中、安田の大杉(樹齢 800年)の前でたたずむ〇〇氏



勾配の算出:水平距離 100m に対する勾配を算出 (30%は 30m の登りに相当)。平均値であり延々とこの勾配の登り下りを楽しんだ。

